

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（店 長）	販売量の動き	・テレビはブラウン管ではなく、薄型液晶テレビが 出ている。単価の高い物が動いている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・車の大きさや金額に関係なく売れており、今年に 入って最高の売行きである。それに伴い車検や整備も かなりの在庫台数で、車検については当店の新記録を 達成している。
	やや良く なっている	一般小売店〔家 電〕（経営者）	お客様の様子	・地上デジタル放送が始まり、客の関心が高まって きている。すぐに購入には結び付かなくても明るい兆し がみえてきている。
		衣料品専門店 （店長）	販売量の動き	・ダイレクトメールによるセールが好評であったた め、販売量、購買客数共に前年比で20%の伸びとなっ ている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・最大需要月と重なって新型車が発売となり、その効 果で販売台数が増加している。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・輸入車の販売台数はずっと上り調子で伸びている。 輸入車を売って、国産車を下取りしているが、国産車 の売行きも好調である。
		自動車備品販売 店（経営者）	販売量の動き	・単価はやや低めであるが、3か月前に比べ販売台数 ははるかに伸びている。
		住関連専門店 （仕入担当）	単価の動き	・客単価にやや上昇の兆しがあり、利益率が改善され てきている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・歓送迎会シーズンにもかかわらず団体予約は少ない が、寒さが和らいできたからか主婦層による昼の来客 数は多少増加している。
		都市型ホテル （経営者）	お客様の様子	・ここ数か月、予約が安定して前年を上回るよう になっている。個人、団体共に前年を大きく上回ってい る。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビ、インターネットの契約数は上向き 傾向にあり、新年度という要因もあり、購買意欲が高 まっている。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・来客数が3か月前と比べて約3～4%上回ってい る。
		ゴルフ場（副支 配人）	来客数の動き	・前年に比べ入場者が大幅に増加している。先の引き 合いも出ている。
住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・公示価格等がいくらか上昇傾向にあることと、長期 借入金利上昇が原因となり、購買意欲を刺激して良く なる。		
変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・例年であれば年度末で人の出入りが多いが、今年 はどこに行ってもあまり人が動かないということ を言う人が多い。	
	百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・各ブランドでジャケットコーディネート、インポ ート生地のスーツフェアなどの企画があり、ダイレ クトメールを相当数出しているため、来店客が非 常に多い。	
	百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・今月は内祝いが多いが、なぜか数量が減っている。	
	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・客が慎重に物を選んで買物する様子は以前と あまり変わっていない。	
	スーパー（経 営者）	単価の動き	・新規競合店の出店により、客が買い回りを しているため単価が下落している。	
	スーパー（統 括）	販売量の動き	・春物のスーツやコートの売行きは好調に推 移している。来客数、点数は増えているが、依然 として食品の単価の落ち込みが続いている。各食 品メーカーの新製品のほとんどが健康を意 識した物であるが、消費者の健康志向は更 に顕著になってきており、健康志向商品と モチベーション商品は、単価に関係なく好 調な動きとなっている。	
	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・公共料金の支払で来店する客は大幅に増 えているが、売上自体はほとんど変わって いない。	
	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・秋冬物のバーゲン時期であった3か月前 とは来客数、販売量共に比較にならないが、 3月は天気に恵まれたこともあり、ブラウ ス類はもちろん、ジャケット類も好調 である。	

	衣料品専門店 (販売担当)	販売量の動き	・来客数はそれなりにあるが、下見、品定めというより、見るだけを楽しんでいるような雰囲気客が多く、実売にはつながっていない。天候は春らしくなっているが、販売にはなかなか結び付かず、消費行動はやや冷え込んでいる。
	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・季節商材や空気清浄機等は前年の6掛けと非常に厳しく、新生活商品の動きも前年比90%と苦戦している。
	その他専門店 [携帯電話] (営業担当)	販売量の動き	・例年新生活を対象にしたキャンペーンの展開で結果を出してきたが、今年は大きなピークもなく、売上も大きくは伸びていない。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・月の前半が極端に悪く、後半は回復したが、前半の落ち込みをカバーできず、前年比で売上が10%程度落ち込んでいる。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・例年に比べて暖かい日が多かったことから、客の入込は例年よりやや多くなっているが、レストラン、ホテル関係の売上は例年並みである。一部人気の高い店は、例年以上の売上を上げている。
	ゴルフ場(支配人)	それ以外	・毎年3月は雪が多いが、今年は少なく、予約の増加や融雪資材及び人件費の削減につながり、収支にとって大きなプラスである。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	お客様の様子	・物よりもエンターテインメント、楽しむことを求める人が増えている。当店でいうとインターネットカフェを長時間利用する客や、一旦出てまた入り直す客、時間を延長する客が増えている。その反面、物を欲しがる人は減っている。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・3月は卒業式などの行事が多く、髪をセットする客が増えたが、天気の悪い日の集客力、売上が低かったため、結果としては変わらない。
	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	お客様の様子	・3月の入庫は過去最低である。業者に頼らないユーザー車検が全国で1割いる。整備なし車検が増えつつある。
	設計事務所(所長)	競争相手の様子	・いまだに景気は悪いままで変わらず、年度末なので公共物件もない。同業者の集まりでは、先行きの不安ばかりが話題になっている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近、不動産に対する引き合いがかなりなくなってきている。賃貸、売買共に当地域は何かぱっとしない状況である。
やや悪くなっている	一般小売店[青果] (店長)	来客数の動き	・卒業、入学、入社といろいろお金がかかるので、毎年3~4月は悪いが、今年は特に落ち込んでいる。
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・店舗前の工事の影響で来客数が前年の90%、売上は95%となっている。工事は4月末までなので、我慢の日々である。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・県庁の異動が小規模であった影響もあるようで、歓送迎会の動きが鈍く、フリー客もあまり動いていない。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・小中学校の殺人事件などから、当地域でも謝恩会等が自粛され少なくなっており、販売量、来客の動きが非常に少ない。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・この3か月間、昼間の動きは変わらないが、夜の動きが少なくなっており、今月も前年同月比で5.5%の減少である。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・今まではいくつか問い合わせくらいはあったが、今月は全くない。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・2~3か月前の来客数と比べるとかなり減少している。仕事の効率も悪い。小さな物件が多く、大きな収益につながらない。
悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・3月は新学期に向けた学生関係の販売で多少売上があったが、全体では前年の2割減となっている。常にいろいろ工夫しながら仕事を進めているが、どうしても売上を低下しないようにはできない状況である。客もいろいろなものを買わないという傾向なので、困った状況である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年3月は送別会などで結構タクシーを利用する人が多いが、今年は売上が前年比で20%ほど減少している。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・高価格商品が持ち直してきており、このまま推移する見込みである。
		出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	取引先の様子	・取引先の精密関係が良くなってきている。かなり上向きである。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・特装やトラックを含む上期の生産計画は前年より約3割増しとなっている。
		一般機械器具製 造業(生産管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・全体的に受注量が更に増加し、客の希望納期にこたえられない状況である。今月は、四輪駆動車向けの量産品をフル生産にて対応し、過去最高の量を出荷している。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・資金需要としては業況回復企業の資金繰り安定化に伴う短期運転資金の申込は減少している一方で、製造業では自動車部品、機械金属製品等を中心に順調に推移しているため、設備投資の資金ニーズは出ている。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・春から秋にかけてプライダル業界の新規出店が多くなっており、それに伴う様々な広告制作の受注が増加している。前年度に比べ、新年度の広告受注は15%くらい増えている。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・チラシ出稿量は、前年比105%と好調に推移している。前年不振であった携帯電話等、通信機器関連が大変好調である。また、企業業績が良い業種の出稿が目に見えて良くなっている。
		その他サービ ス[情報サー ビス](経営者)	受注量や販売量 の動き	・引き合い、受注量、販売量、共に増加傾向にある。
変わらない	食料品製造業 (製造担当)	受注価格や販売 価格の動き	・原料仕入価格と商品納入価格の差が利益を見込めるほどない。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・少量多種が多く、量産は少ない状況である。忙しい割には利益が出ないので、新機種の対応のために設備も整えたいが、できない状況が続いている。	
	その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	受注量や販売量 の動き	・取引先の店舗に格差が出ており、売上が増加している店がある一方、売上不振が深刻になっている店が増えている。比較すると売上不振の店の方が多い。	
	不動産業(経 営者)	取引先の様子	・新規契約の仕事があるが、以前の価格よりも安く当社に回ってきているので、仕事量は増えても価格が安いので変わらない。	
	その他サービ ス[放送](営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・官公庁、電機、自動車産業からのタイムコマーシャルは横ばいである。商業、サービス業、不動産業等からの新規のスポットコマーシャルは増加しているが、期間が短く、小口化し、不安定である。郊外に大規模なショッピングセンターが開店した影響から、既存の大型店及び商店街からのイベント受注が落ち込んでいる。	
やや悪く なっている	窯業・土石製品 製造業(経 営者)	取引先の様子	・特注品だけでなく、店頭商品の受注量も激減している。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・2月半ばまでは忙しかったが、自動車メーカーの生産減の影響で3、4月の稼働率は50%に落ち込んでいる。他の産業機器関係も年度末の駆け込みがなく、4月も今のところ発注控えということでもかなり寒い状況である。	
悪く なっている	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事中心のため、10～2月の5か月間の受注額は前期比で2割しか確保できず、社員も減らしており、厳しい状況である。	
雇用 関連	良く なっている	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・求人広告は上向いてきている。外食やコンビニ等を中心に広告を出しても人が集まらないという傾向も出てきている。周辺のアウトレットやショッピングモール、ファミリーレストランなどの入込状況は順調である。
	やや良く なっている	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・景気が良くなってきて企業が人材を抱え込んでいるために、派遣の登録スタッフが市場に出てきていない。

	職業安定所（職員）	それ以外	・一部の事業所ではあるが、求人票にある派遣請負の時給を30～50円程度上げるところがみられるようになっている。ただし、給料の最低部分の金額を上げることは少なく、大半は影響の少ない最高部分の金額を上げている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・景気をけん引する製造業において、原油高による原材料高騰が吸収できたのか、中途、新規採用がおう盛な中小企業が目立ち始めている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・来年度に向けた採用活動は、企業の人材獲得競争の激化により、以前にも増して早期化している。技術、開発系職種と比べると文系学生対象の職種は依然として厳しいものの、全般的に増加傾向が出始めている。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数の動きは結構目立って出てきているが、1～3月初めまでは求人があっても求職者が少ないという動きがほとんどであった。ここに来て人の動きも出始めているが、偏った部分がある。電機電子、自動車関連は動きが少ない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人広告の掲載企業が多くなっている。特に業務請負及び派遣業の募集人員が多く、掲載枠が大きく目立っている。正社員の募集も以前よりは多くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は6,300名を超え、前年同月比で2か月連続の増加となっている。求人倍率は、平成16年11月以来の2.0倍を超える2.06という高水準である。しかし、派遣求人が求人数全体の19%を占める状況や、パート求人が2か月連続1,800名を超える状況等、直接雇用や正社員の求人状況は相変わらず厳しく、今後不透明である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・免許資格の必要な専門職等は、恒常的な人手不足が続いている。しかし、受注の増減を派遣、請負等で調整する事業所も相変わらず多くみられ、多くの求職者が希望する正社員での就職は依然難しい。
	学校〔大学〕（総務担当）	採用者数の動き	・各学科とも2月末まで85%であった内定率は、年度末を迎え平均で93.8%となっている。これは前年と同じ動きである。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-

